

徳運寺 国の文化財に登録



平成二六年十月七日、徳運寺本堂・庫裏・山門高塀が、国の登録有形文化財に登録されました。徳運寺は元弘元年(1331)に山家郷の地頭である山辺為頼が開創し、諏訪郡慈雲寺の住持雪村友梅の開山と伝えられます。その後衰えましたが、永正年間(1504~21)に地頭の折野山家氏が中興しました。天正十年(1582)武田氏とともに折野氏が滅び、寺は廃絶しましたが、文禄年間(1592~96)現在地に移って再興されました。幕

末に火災で焼失、嘉永六年(1853)本堂、安政三年(1856)に庫裏が再建され、大正九年には山門高塀が新築され今回の登録となったものです。

徳運寺本堂
寄棟造銅板葺の方丈型本堂で、南面して建つ。平面は八間取の前面に二間幅の広縁を通す、大型の堂である。南西隅に鎮守堂を張出し、金毘羅大権現等を祀る。全体に装飾は抑えめで、側廻りは柱上に台輪を廻らして三斗を置く。起こりのある大屋根が風格を醸す本堂である。

徳運寺庫裏
本堂の東側に式台を介して南北棟で建つ。当地方に特徴的な本棟造民家に類した形式を持ち、桁行十二間、梁間八間と大規模になる。南寄りを入間の玄関とし、床上部は、奥三室の座敷の前面に、才工等各室を配する。当地域における江戸末期の大型禅院庫裏

館報
いりやま

平成 27 年 5 月 1 日 現在

世帯数	887 戸
男	1,027 人
女	1,095 人
総人口	2,122 人

境内の南正面を画す門と塀。山門は薬医門閉式で、梁の持送りや妻飾の笈形に彫りの深い彫刻を施す。山門の左右には高塀が取付き、右方3・6メートル、左方4・6メートルを測る。高塀は真壁とし、壁面を漆喰で仕上げ。凛とした佇まいで、境内正面を曳縮めている。

冊子「山辺の幟」
山辺歴史研究会が、ここ数年をかけて取り組んできた、山辺地区の神社に奉納される幟旗の調査がまとまり、この度「山辺の幟」として発刊することができた。今、その発刊までの、長かった道のりをふり振り返りながら、発刊の成果や意味を改めて考えている。冊子を手にした地区の皆さんから、ねぎらいの言葉や、いろいろな感想をいただいたているが、おおむね好評のようである。冊子には入山辺地区だけでなく、六神社二八点の幟が収録されている。「地区にこんなにも沢山の幟があると知らなかった」と言う率直な感想もきかれる。実際に自

の好例である。

徳運寺山門及び高塀
山辺歴史研究会会長 宮坂 昌憲

分たちのところの幟以外にはあまり関心がなかった人たちも、広く地域の幟についての理を少しでも深めていただければ幸いである。そして、それぞれに幟に込められた氏子の人々の願いや心意気にも想いをめぐらし、この貴重な文化財でもある幟を、いつまでも大切に受け継いでいってほしいと思う。この幟を通して、地域の人々の絆が更に強くなっていく事を願うものである。

つぎに我々研究会がその成果として感じているのは、現在の地域の幟の姿をまとめて記録として残すことができたことである。それぞれの幟の内容、幟の建てられている状況や景観などを含めた幟の姿。最近、廃止・縮小・再調など幟をめぐる状況がいろいろと変化している中で、ここ二十年ばかりの一時期の幟の姿を切り取って記録にとどめることができたことは、意味

のあることだと思ふ。

しかし、まだ研究不足の点や、力の至らなかつたところもいろいろと感じる。例えば、揮毫者の経歴等が不明の幟がいくつかあることである。南方(林由明)、東桐原(高橋定一)、一の海(竹外)、中村・寺所(木文山)、大和合(龍潭源正則)等のそれである。これらについては、今後にも更に研究を続けていきたいものだと思つている。



平成27年度 入山辺公民館主要事業

- ◎ 5月24日(日) 町会対抗球技大会
 - ◎ 7月18日(土) 第28回親子ひるば
 - ◎ 9月13日(日) 市長杯争奪球技大会
 - ◎ 10月11日(日) 東山ブロック予選大会 (軟式野球、バレーボール)
 - ◎ 10月18日(日) 第58回市民体育大会秋季大会
 - ◎ 10月18日(日) 第88回入山辺地区大運動会
 - ◎ 11月1日(日) 第39回入山辺地区文化祭 (町会対抗ゲートボール 大会同時開催)
- ※ その他各種講座や事業の開催については、随時発行の「入山辺公民館だより」等でお知らせいたします。

人事往来

新任のあいさつ



入山辺保育園長
渡邊 千鶴

この度の異動で20年ぶりで
すが、入山辺保育園でお世話
が立派に成人して父親や
母親となっていました。園舎
が当時より小さく感じられま
す。このような思いがけない
再開ができたことに感激して
います。

46人の園児と職員9人、そ
して13人の支援の方々との生
活が始まって2ヶ月が経ちま
した。当初は、子ども達から
「園長先生かわったね。」「女
の先生だよね。」「おばさん
だ。」とささやかれています
が、元気のよい年長、年中
の子ども達からは、「追いか
けっこしようよ」「ドッジボ
ールやろう」と遊びへの誘いの
声がかかるようになってきま
した。



入山辺出張所
柳本 真里

今年度から、入山辺出張所
へ参りました柳本真里と申し
ます。私は、健康福祉部の福
祉計画課から異動いたしました。
た。

入山辺地区は豊かな自然に
囲まれ、北アルプスが望める
素晴らしい場所だと感じてお
ります。また、地区活動や地
域づくりが活発で、皆さんの
入山辺に対する愛を感じてい
るところです。

地区での勤務は初めてのた
め、行き届かないところもあ
るかと思いますが、入山辺地
区の皆さんと共に、精一杯地
域づくりに取り組んで参りた
いと思います。どうぞよろし
くお願いいたします。

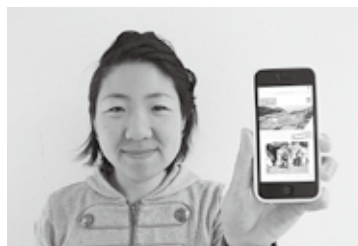
お知らせ

前入山辺保育園長の上條千
博さんはこども福祉課へ異
動、前入山辺公民館主事の竹
下昌明さんは広報広聴課へ異
動、前入山辺出張所主事の本
島章彦さんは入山辺公民館へ
異動されました。

入山辺地区の将来ビジョン を考える会の活動紹介

地区の将来について考えよ
うと始まった入山辺地区の将
来ビジョンを考える会(愛称
・こんな山辺にするじゃんこ
は今年度で5年目を迎え、つ
いにホームページができた。同
会で今までに実施して
きた活動により、入山辺は松
本市内で一目置かれるまでに
なりました。このホームペ
ージは入山辺をもっとたくさん
の方に、知って、実際に来て
好きになってもらうことを目
的としています。是非大勢の
皆さんに紹介していただき、
入山辺好きの方が増えたら嬉
しいです。

そして平成26年度から集落
案内看板の取りつけも始まり
ました。今年度も入山辺を盛
りあげるべく活動していきま
すので、大勢の方のご参加
ご協力をお願いいたします。



ホームページを担当した朝倉さん(既所)

iriyamabe.com

平成27年度 役員紹介

- 町会連合会長 町会連合会長
- 防犯協会会長 人権推進協議会長・増澤 範一
- 入山辺記念林協議会長・大澤 徳次
- 入山辺記念林委員長・大輪 健一
- 農振推進協議会長・百瀬 房雄
- 松本市農業委員・大澤 徳次
- 百瀬 道雄
- 防災部会長 西澤 辰一
- 防災福祉女性部長・石川小夜子
- 衛生協議会会長・青柳 久雄
- 入山辺社会福祉協議会・原田 範久
- 福祉ひろば事業推進協議会長 武井 勝巳
- 福祉ひろば専任コーディネーター 小笠原玲子
- 健康づくり推進員 百瀬 祐子
- 入山辺公民館長・遠山 重治
- 星・児童員協議会・平林 八郎
- 町内公民館長・小出 晃永
- 子ども会育成会長・柳澤 良子
- 体育協会会長 新井 利幸
- 交通安全協会全部長・久保田豊美
- 消防第十八分団長・西澤 幸雄
- 公民館編集委員 朝倉 康直
- 老政会長 原山 良平
- 入山辺保育園保護員 宮川 香織
- 山辺小学校PTA副会長・百瀬美智子
- 山辺中学校PTA代表 木下 守
- 町会長 橋倉 武井 勝巳
- 南方 原田 範久
- 西桐原 江平 茂
- 東桐原 木下 逸司
- 舟付/宮原 岡澤 俊幸
- 北入中部 増澤 範一
- 千手/駒越 新井 保
- 三反田/奈良尾 山本 正門
- 上手町 小澤 政明
- 原/既所 大澤 康男
- 大仏/一の海 上原 謙一
- 大和合/牛立 柳澤今朝雄
- 三城 内城 希
- 橋倉 小出 晃永
- 南方 百瀬 悦緒
- 西桐原 中村和壽夫
- 東桐原 齋藤 利夫
- 舟付/宮原 百瀬千賀夫
- 北入中部 内川 賢仁
- 千手/駒越 新井 吉継
- 三反田/奈良尾 小笠原徳男
- 上手町 原田 幸男
- 原/既所 市川 文男
- 大仏/一の海 柳澤 憲一
- 大和合/牛立 宮坂 修
- 三城 前田 純一
- 橋倉/南方 小笠原玲子
- 西桐原 百瀬 洋子
- 東桐原 平林 八郎
- 舟付/宮原 西澤 博子
- 共栄/手/鬮 矢島 維豊
- 三反田/奈良尾/上手町 大輪 良子
- 原/既所/大仏/一の海 朝倉 洋子
- 大和合/牛立 澤渡家寿江
- 三城 前田 民江
- 主任児童委員 向井 圭子